

第483回（3月定例）福崎町議会

福崎町長 橋 本 省 三

皆さんおはようございます。

第483回福崎町議会定例会を招集しましたところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

木の芽もふくらみ、花のつぼみに春を感じるうれしい季節となりました。草木を揺らす風にも春の訪れを感じます。これからも三寒四温を繰り返し、桜の季節を迎えるわけですが、お体には充分気をつけていただきたいと思います。

さて、本年は天皇陛下の譲位により、平成の時代もあとふた月で幕を閉じます。新しい元号とともに、国では、5月の米国大統領来日、6月には大阪で主要20か国首脳会議、7月に参議院議員選挙、そして、10月には消費税改正と私たちの生活に直結する各種事業が予定されています。

本町においても、長年の懸案であった福崎駅周辺整備事業が完成し、いよいよお披露目できることとなります。10月には、ご尽力をいただいた関係者をお迎えし、住民の皆さんとお祝いしたいと考えています。新しい福崎駅前が新元号の元年にスタートが切れることをうれしく思います。今後は、この事業で整備した各種施設の運営や周辺のにぎわいづくりに注力していく所存です。

さて、わが国を取り巻く社会や経済情勢に目を向けますと、「景気は緩やかに回復している。」また、「海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされており依然として不透明な状況にあります。消費者物価は横ばいではありますが、個人消費や輸出が持ち直しの動きをみせ、設備投資は増加、生産は緩やかに増加、雇用情勢は着実に改善、景気は緩やかに回復しているようであります。

このような中、政府は、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化を同時に実現するため、「経済財政運営と改革の基本方針2018」及び「未来投資戦略2018」等を着実に実行するとともに、全ての世代が安心でき、活躍できる「全世代型社会保障制度」を実現するため、労働制度をはじめ制度全般の改革を進めています。

また、10月に予定している消費税率の引上げを控え、経済財政運営に万全を期すとしていきます。

国の平成 31 年度予算フレームでは、歳入面では、税収を 62 兆 5 千億円と見込み、プライマリーバランスは対前年度と比べ若干の改善となりますが、国と地方を合わせた債務残高が、31 年度末に 1,122 兆円に達するといわれ厳しい財政状況が続いています。

また、兵庫県では、行財政構造改革の成果を生かしつつ適切な行財政運営を推進するため策定した「行財政運営指針」に基づき、選択と集中を徹底し、「兵庫県地域創生戦略」、「兵庫2030年の展望」等を踏まえ、すこやか兵庫の実現に向けた施策を積極的に展開するとしています。

このような中、本町では、国、県の施策の動向を注視しつつ、第 5 次総合計画の実現と、福崎町総合戦略の取り組みを進めるとともに、行政改革の不断の取り組みと実行等により、人口減少・少子高齢社会であっても「**創意と工夫で輝く町**」を築いていくための予算編成を行いました。

一般会計の予算総額は 82 億 800 万円で、対前年度比 8 億 600 万円、率として、8.9%の減となりました。

特別会計の国民健康保険事業では、兵庫県が財政運営の責任主体となる大きな制度改正から 2 年目を迎え、引き続き国による財政支援により基盤を強化するとともに、町においては資格管理や保険給付、保険税の賦課・徴収、保健事業など、地域に密着した事業に取り組みます。県から示された標準保険料率及び事業費納付金額を参考に、基金活用も含めた負担緩和を図りつつ、適正な税率設定に努めます。

後期高齢者医療事業では、国による社会保障制度の見直しのなかで、継続して保険料軽減措置の改正等が段階的に行われており、被保険者の負担にも大きく関わることから、正確な情報提供、丁寧な周知に努めてまいります。

介護保険事業では、地域包括ケアシステム構築に向けて、昨年度に引き続き高齢者の自立支援や重度化防止等を進めるため、保険者機能強化に取り組むとともに、10 月からの消費税引き上げによる財源を活用し、別枠で公費を投入することで、低所得者の保険料の軽減割合を拡充します。

近年、我が国の製造業を取り巻く環境は大きく改善し、本町においても工場用地の需要が高まっています。このような状況の中、地域経済の成長基盤を整え、雇用の場を創出することが町の活性化につながることから、町が事業主体となって工場用地の確保に取り組むため、工業団地造成事業を新たに設置いたします。

水道事業、工業用水道事業、下水道事業に工業団地造成事業を加えた 4 事業の管理者として、上下水道事業管理者を公営企業管理者に改めます。水道事業では、安全で安心な水

の安定供給を図るため配水管及び送水管の更新に取り組みます。下水道事業では、長目地区コミュニティプラント施設を公共下水道へ統合し効率的な施設運営を図ります。また、市街地の浸水被害の解消を図るため、川すそ雨水幹線の整備を推進するとともに、福田地区直谷第2雨水幹線の整備に着手します。

歳出における第5次総合計画の政策の柱ごとの主な事業は、次のとおりです。

【第1の柱】地域づくり（参画と協働）

自治会における自立（律）のまちづくり交付金事業を継続し実施します。個人番号の普及促進と住民の利便性向上のため、住民票・印鑑証明書・戸籍謄本などをコンビニで交付できるサービスを実施します。また、納税者が複数の地方公共団体に対して一括納税を可能とする地方税共通納税システムを導入します。

【第2の柱】教育・文化（ひとづくり）

公立幼稚園4園及び私立こども園2園の幼保連携型認定こども園により、就学前教育・保育の充実に取り組みます。子育て支援では、子ども子育て支援事業計画を策定します。

また、学校施設長寿命化計画に基づき福崎小学校北校舎の長寿命化改修工事の実施設計を行います。第40回山桃忌は「文学者としての井上通泰と柳田國男」をテーマに、講演会やシンポジウム、また、出雲の民俗芸能を披露し『柳田國男生誕の地 福崎町』を広く発信します。エルデホールでは、メインホール等の空調設備の改修工事を実施します。

【第3の柱】生活・環境（安全）

新たな浸水想定区域及び土砂災害特別警戒区域（レッド区域）を反映した防災マップの改定を行います。また、防災重点ため池である北浦谷奥池、新池のため池ハザードマップを作成します。

ごみ処理事業では、神崎郡3町での次期ごみ処理施設建設に向け、中播北部行政事務組合内に準備室を設置し、福崎町からも職員1名を派遣し事業の一層の推進を図ります。

【第4の柱】健康・医療・福祉（安心）

「保健センター」を4月から毎週土曜日を開庁し、健康や子育て、介護など様々な相談業務に当たります。

医療費助成事業では、現在、中学3年生までを対象に実施しているこども医療費助成について、対象を高校生まで拡大しその一部を助成します。

また、巡回バスのまちなか便の昼間の空白時間の解消やダイヤ変更をはじめ、郊外便の運行本数を増やすとともに、市町間連携バスのルート変更など、サービス・利便性の強化を図ります。

【第5の柱】産業振興（活力）

高岡・福田地区の県営ほ場整備事業を進め、山崎地区においては、引き続き調査業務を実施します。商工・観光では、駅前、辻川2つの観光交流センターの指定管理者を定め、観光協会と連携し、おもてなしのまちづくりの拠点施設・交流施設等としての利活用を図ります。

また、ひょうご地域創生交付金事業を活用し、第1回妖怪ベンチコンテストの開催、駅前広場の妖怪モニュメントの設置や駅周辺で福崎〇〇まるしえを実施し地域の賑わいづくりに努めます。

消費増税対策として子育て層や低所得者層にプレミアム付商品券を発行します。

【第6の柱】まちの基盤（利便・快適）

駅周辺整備事業は線越事業を含め早期完成を図り、商業施設などの生活利便施設誘致に取り組めます。また、福崎駅田原線の土地収用手続きを進めるとともに県道甘地福崎線北工区の整備を促進します。

橋梁では長寿命化修繕計画に基づき3橋の補修、1橋の架け替え及び1橋の撤去を行います。町営住宅駅前団地は建替え工事を引き続き行い、完成後、入居者の転居を進めるとともに、旧住宅の解体工事を実施します。

平成31年度に取り組む各課の主な事業は次のとおりです。

【総務課】

職員の、時代の変化やニーズに対応した政策形成能力を高めるため、各種研修機関での研修や県との人事交流の充実に努めます。

非常勤職員の任用について、地方公務員法等の改正に伴い新たに会計年度任用職員としてその制度確立を図ります。

女性の持つ豊かな感性や生活体験を通じた視点による率直な意見、提言をいただくため、女性委員会の活動を引き続き進めます。

住民サービスの向上並びに庁舎整備の一環として、1階窓口カウンターの改修整備を行います。

また、新たな試みとして、民間事業者との官民協働事業により行政情報、観光、医療など暮らしに役立つ「町民便利帳」を作成し、全戸配布いたします。

本年度は、兵庫県議会議員選挙、参議院議員通常選挙、福崎町長選挙の選挙が予定されており、選挙管理委員会では公平、公正な選挙執行に努めます。

【企画財政課】

「福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、平成31年度に5年目の最終年度を迎えるため改定を進めます。

また、健全な財政運営については、大型事業を進める一方で、中長期的な見通しを念頭に置きながら、第5次行政改革実施計画に沿って改革に取り組みます。

【税務課】

国税徴収法、地方税法、町税条例及び債権管理条例などにに基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより徴収率の一層の向上を目指します。

地方税共通納税システムに対応するため、税基幹系システムの改修を行います。対象法人にとってはメリットが大きいので、広報紙やホームページなどによる周知に取り組みます。

【地域振興課】

㈱もちむぎ食品センターの安定的な経営と酒類小売販売免許の取得を支援します。

大庄屋三木家住宅の副屋や辻川界限歴史・文化館の指定管理の導入に向け協議を進めます。

また、買物困難者対策として商工会と連携し取り組んでいる移動スーパー「ふくふくまる」は、地域の需要を確認しつつ柔軟に対応していきます。

【住民生活課】

くれさかクリーンセンターの焼却炉停止後の姫路市処理施設へのごみの搬入方法などについて、姫路市と協議を進めます。

個人番号カードの取得促進を図るため、写真撮影の無料サービスや休日の個人番号カード申請受付を行います。

通学路の安全性の向上や防犯対策として防犯灯を設置するほか、通学路にグリーンベルトを設置するなど、児童生徒の通学の安全確保に努めます。

【健康福祉課】

本年、11月末で現在の民生委員・児童委員の任期が満了（3年間）となるため、一斉改選を実施します。

子ども家庭総合支援拠点を保健センターに設置し、18歳未満の要支援児への対応を強化するとともに、自殺対策も兼ね、閉じこもり傾向の成人も対象とした専門相談員による月1回の「家庭自立相談日」を開設します。

母子保健事業では、不育症治療支援事業を実施し治療費の半額を助成することで、経済的負担の軽減を図ります。

食育推進事業では、妊娠期の母親に対して実習や講義を通じて正しい食事量や栄養素、離乳食のとりわけ方法などを学ぶ「プレママクッキング」を実施します。また、健診結果から低栄養の恐れのある高齢者に対し、栄養士が家庭訪問等で個別指導を行い、介護予防に取り組みます。

成人保健事業では、姫路市医師会の協力を得て子宮頸がん検診の個別検診受診医療機関の拡充を図り、受診しやすい体制を整えます。

【農林振興課】

「人・農地プラン」の作成と多面的機能交付金事業を推進します。また、農地の担い手への集積・集約、耕作放棄地の解消を進めるとともに、農業用施設の機能更新・長寿命化を図ります。

特産もち麦の生産性向上、高品質化、新商品開発、販売促進等を進めます。

【まちづくり課】

道路整備は、各集落内の道路の改修や通行に支障をきたす危険箇所の解消に向けて整備を進めていきます。また、道路照明のLED化、信号への地名表示などにも計画的に取り組めます。

福崎駅周辺整備の進捗に伴い、都市計画道路福崎駅田原線の法線変更の検討を進めます。

住民の憩いの場となる公園の適正な管理に努め、市川河川公園のトイレの更新、宮の丘ふれあい広場のトイレ改修を実施します。

空家対策については、「空家等情報バンク」への登録をPRし空家の利活用を図ります。また、「空家等の適正な管理に関する条例」に基づき、空家審議会に諮りながら、特定空家に対し指導・助言を行ってまいります。

【上下水道課】

水道事業では、亀坪地区配水管や余田配水池から東部工業団地への連絡送水管の更新、また、西治長野線の西谷川に架かる無名橋架け替え工事に合わせ、水管橋の布設替を実施します。

汚水事業では、コミュニティプラントを廃止し、処理場の閉鎖工事を実施します。

福崎浄化センターの長寿命化に向け、対象施設の点検・検査を実施し、調査結果をストックマネジメント計画として取りまとめます。

また、農業集落排水処理施設の長寿命化を図るため、施設の機能診断を実施し、最適整備構想計画に取り組みます。

【学校教育課】

消費税増税に伴う就学前教育・保育の無償化に該当する利用者及び給食費徴収等の事務変更について円滑な移行を進めます。

学童保育事業については、保育時間が長くなる夏季休業期間について、7月は7,000円、8月は9,000円とし、保護者に適正な負担を求めて参ります。

平成30年度に続く2年目として、友好都市である遠野市へ福崎町内小学生が訪問し、民俗学の父柳田國男を軸とした児童交流を行います。

【社会教育課】

柳田國男・松岡家記念館では、松岡映丘生誕140年に向け、2回の画稿展を開催、また、資料収集・整理作業を進めます。

歴史民俗資料館では、5月1日の改元を記念し、「平成時代とふくさき」を振り返る企画展、また、発掘調査からも平成30年間を振り返る企画展を開催します。

埋蔵文化財事業では、引き続き高岡・福田地区ほ場整備事業の本調査を実施します。

図書館では、住民の情報文化の核として情報の収集・発信に努めるとともに、子どもたちに読書習慣が身につくよう各種事業に取り組んでいきます。図書購入費も維持し、蔵書の充実を図ります。

学校の支援事業として、「みんなで支える学校 みんなで育てる子ども」をテーマに、登下校の見守り、補充教室や土曜チャレンジ教室などの支援活動を引き続き実施します。

文化センターでは、各種講演会やセミナーを幅広い分野で実施し、生涯学習の拠点としての充実を図ります。

野外活動センターでは、傷みの激しい多目的広場の改修工事をおこない、安全な施設管理に努めます。

続きまして、今議会提出議案の概要について説明いたします。

(省略)

以上、報告が4件、人事案件1件、条例関係で9件、予算案件で補正予算、当初予算あわせて14件、契約2件、規約変更2件、その他の案件2件の全34件となっています。

詳細説明は、副町長、上下水道事業管理者、技監ほか、担当課長が行いますのでよろしくご審議賜りますようお願い申し上げ、所信表明といたします。